

# 羽田空港への都心上空ルートをやめ海上ルートの活用を

## 2021年港区議会第4回定例会

港区議会第4回定例会が、11月25日から開かれました。日本共産党港区議団から、風見利男議員が、26日の本会議で区長・教育長に質問しました。



風見 利男 議員

### 職員のメンタルヘルス問題の対策

【質問】病気休暇の多くが、メンタルの不調によるものです。2020年度のメンタルの不調により病気休暇を取得した職員の要因分析の結果は、業務量の負荷が最大です。①定数管理にとられず、大幅に人員を増やすこと。②大規模災害が発生したときに、区民の安全安心を保障するのも職員の仕事です。その点からも人員増が必要。

【答弁】①毎年度、所属長へのヒアリングなどを行った上で、業務量に応じた人員を適正に配置しております。②大規模な震災等の発生時においては、ライフラインやインフラの維持等の業務に優先的に着手することが重要であるため、区では、清掃作業や土木作業に従事する職員について、緊急時に必要な職員数を定めた上で、計画的に職員を採用しております。

### 羽田都心低空飛行をやめ海上ルートを利用すること

【質問】オリンピックによる訪日外国人旅行者の増加、インバウンドのため、国際競争力強化のために増便が必要と、都心上空を低空で飛ぶルート（A滑走路、C滑走路）を、住民の反対を押し切って強行しました。羽田の着陸枠は、

港区議員団のホームページでは、質問と答弁の全文と録画配信が見られます

年間24万3千便です。①2020年4月から2021年3月までの1年間、羽田空港への着陸は11万2990便ですから、港区上空を飛ぶ必要はありません。区長の認識は？②南風時の午後3時から7時までの都心上空低空飛行はやめ、海上ルートの利用を国に要求すべき。

【答弁】①区民から騒音や落下物などに対する不安の声が多く寄せられております。国に対し、固定化回避の検討を強く求めていくべきと考えております。②国に対し、海上ルートの活用や、地方空港の活用による飛行ルートの分散化などの検討を加速するよう、強く要請してまいります。

### 災害バンダナの作成 支給について

【質問】外見から分かりにくい聴覚障害者らに災害時、必要な情報や支援を届けるための取り組みが各地で進んでいます。全国各地の先進的な取り組みを参考に、港区でも災害バンダナをつくり、配布すべき。

【答弁】災害バンダナなど他自治体の取組事例や区内の障害者団体、手話通訳の支援者など当事者のご意見やニーズを伺いながら、災害時においても障害者の円滑な意思疎通を支援し、必要とする支援が認識されやすい効果的な方法を研究してまいります。



### 公衆電話をなくさないで

【質問】総務大臣の諮問機関の情報審議会は、7月7日、公衆電話の設置基準の緩和に関する答申をまとめました。現在は市街地で約500メートル四方、その他は1キロメートル四方に1台が設置基準ですが、それを1キロメートル四方、2キロメートル四方にするのです。これにより、NTT東日本、NTT西日本が運営する第一種公衆電話は、現在の10万9千台から2万7千台と4分の1に激減します。携帯電話が普及してしまいが、いざ災害が発生したら、通話制限され、使いものになりませんし、電池切れで使えなくなることも考えられます。港区は、東日本大震災を契機に、公衆電話回線を利用して屋外WiFi（WiFi）を設置しています。災害の時に役立つのは公衆電話です。これ以上公衆電話を減らさないように、国に要請すること。

【区長答弁】区は、災害時に区民等の安否確認や情報手段を確立するため、全ての区民避難所への特設災害時公衆電話の設置や、全ての避難所にWiFi（WiFi）及び移動系防災行政無線の配備を行っております。公衆電話の設置基準を緩和することについては、区として、国や通信事業者に対し、災害時などで不特定多数が集まる地域について設置台数を削減しないよう申し入れておきます。

裏面も「1」をご覧ください。

日本共産党 2021年冬号 その2  
 港区議員団ニュース 港区芝公園1-5-25  
 ホームページ 03-3578-2945  
<http://www.icp-minatokugidan.gr.jp>